



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治瓦版



自民党

松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶検索キーワード「松本純」

命を守る! 改革は不断、しかし守るべきは守る

I 小泉「構造改革」、 民営化の危機に揺らぐ 消防行政の中で

国民の生命・財産を守るのは国の仕事。
これを「聖域なき構造改革」と言って、
民間に任せていいはずはありません。

今から20年前の2004年、小泉純一郎内閣が「構造改革」を進める中でのことです。松本純は、麻生太郎総務大臣の下、総務政務官（消防担当）を務めていました。当時、所轄の消防庁長官とともに、頭を悩ませていたのが、相次ぐ大規模災害への対策でした。

台風や集中豪雨の被害が年々甚大になる中、2004年10月には新潟県中越地震が発生、未曾有の壊滅的被害が新潟を襲いました。「これ以上、人的被害を拡大させるわけにはいかない」と消防庁は、直属の研究開発法人「消防研究所」を現地入りさせるなど、大規模災害対策強化に乗り出す矢先でした。ところが、それに「待った」を掛けたのが小泉内閣でした。「行政の肥大化と無駄の削減」として「消防研究所」を他の研究機関と統合し、民営化させることを一方的に決定したのです。「民間に任せては国の責務は果たせない」と当時の林消防庁長官、「国の責任放棄」と政務官の松本純、二人は膝詰めで麻生総務大臣へ「民営化阻止」を熱く訴えました。その結果、定数を半分に削減することを条件に消防研究所は消防庁に残ることができたのです。「『改革』は必要、しかし守るべきは守る」。松本純の政治信条が確かなものになったきっかけの出来事でした。



政策実現は与党でなければできない

II クスリの「供給不足」解消に取り組みます



薬剤師・松本純のライフワークの一つ「薬業」が、いま大きな課題に直面しています。クスリの供給不安が解消していません。特にジェネリック医薬品の供給が滞っています。また、クスリの低価格化が進み、企業が自立して収益を上げ、その収益を次のクスリの創製につなげる循環が難しくなっています。また創薬の本質は、科学技術の英知の結集です。大学や研究機関、製薬企業、投資家、規制が一体となって日本全体で人財や技術を向上させることは喫緊の課題です。政治家としてこれらの課題に取り組みます。

今までもこれからも地元に残り添う代弁者でありたい



命を守る

- ・ 防災対策のさらなる拡充
- ・ 医薬品不足の解消
- ・ コロナの反省を忘れない
- ・ 感染症対策
- ・ 日本創薬力再生プランの実現

暮らしを守る

- ・ 物価高対策
- ・ 世帯所得を増やすため
- ・ 106万円の壁対策の改善
- ・ 医療・年金・介護・子育てなど社会保障制度を堅持

生業を守る

- ・ 働き方改革の改善
- ・ 事業承継制度の恒久化

松本純 まつもとじゅん
プロフィール

1950(昭和25)年4月11日

横浜市中区生れ

野毛山幼稚園、横浜市立本町小、
聖光学院中・高、東京薬科大卒

薬剤師

横浜市議員(3期)

衆議院議員(7期)

- 総務大臣政務官
- 内閣官房副長官
- 衆議院厚生労働委員長
- 国家公安委員会委員長
- 領土問題担当大臣
- 国土強靱化担当大臣
- 防災担当大臣
- 消費者及び食品安全担当大臣
- 海洋政策担当大臣
- などを歴任

【現在】

自民党神奈川1区支部長
(横浜市中区・磯子区・金沢区)
東京薬科大学薬学部客員教授



▲本牧地区国道357号東京湾岸道路開通
八幡橋・根岸周辺の交通渋滞、健康被害が
解消(2016年)



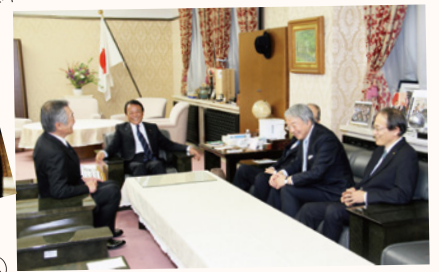
▲本牧ジャンクション改良工事完成で移動時間
が大幅短縮(2004年)



▲「平和安全法制関連法案」
に賛成討論(2015年)



▲オバマ大統領と。官房副長官と
して日米首脳会談に随行
(2009年)



▲事業承継税制整備に尽力、経済界からも
感謝の声が(2018年)

政策実現へ一つひとつ願いが叶う



▲「議員年金廃止法案」に
賛成討論(2006年)



▲新潟県中越地震、皆川優太君
救助で笑顔がもれる(2004年)



▲コロナの反省を忘れない
(2020年)



▲党障害者特別委員会
事務局長として
「障害者差別解消法案」
成立に尽力(2013年)



▲旧長濱検疫所1号停留所を移設保存、海の
公園南口側に再構築工事中(2024年)



▲「日本社会の処方箋」
上梓(2020年)



▲金沢区三師会館(休日診療所)建替え決定、現在
は工事中につき仮診療所で運営(2024年)